

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	・利用児の人数、発達状況に合わせた環境に整え、共有するスペース、個別スペースと活動内容を考えてスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	・配置数は適切である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	・パーテーションや棚などで区切り、どこで何をするのか、場所と活動が1対1対応になるよう子どもにわかりやすく構造化した環境にしている。刺激を減らすなど特性に応じて適切に環境を整理している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	・毎日、利用前後に清掃を行い、衛生管理を徹底している。遊具の消毒、ドアノブなどの消毒を徹底して行っている。また子どもの活動に応じて適宜工夫して、環境設定を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	・療育実践後に、報告、相談、計画を繰り返し行い、改善できるように全職員で取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	・評価表を職員で周知し、改善点についてすぐに話し合っており、実施するとともに、日頃から保護者からの意見に対応している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	・評価について集計結果と対応、改善内容をまとめ、ホームページ等で公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	・外部研修に積極的に参加し、定期的に事業所内での研修や、コンサルテーションを受け資質向上に努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・アセスメント時期を設けて、複数回アセスメントを行い、子どもの現状把握と保護者のニーズに照らし合わせながら、一人ひとりの現段階に合う内容になるよう、職員間で支援計画会議を行い、計画作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	・太田ステージ、PEP-3を使用しており、他のアセスメントツールの使用も予定している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	・ガイドラインに沿って、発達支援、家族支援、地域支援の点から考えてアセスメントを行い、子どもの現段階に合った必要な項目を話し合いにより選択して、具体的に支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	・支援計画に基づいて毎回の支援内容を設定をし、支援を行っている、療育後にアセスメント内容、子どもの様子をパソコンに入力し、支援方法が子どもに合ったものになるよう全職員で共有しながら行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	・職員でチームとなり、話し合い、確認し合いながらプログラムを立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	・子どもの興味関心を取り入れた活動、発達を考慮した組み合わせを考え、活動内容に変化を持たせながら工夫して行っている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・子ども一人ひとりの現段階を考え、発達に応じて個別、集団活動を組み合わせる計画を作成している。	

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	・支援開始前に職員間で打合せをし、役割や動きなど明確に周知して支援できるように配置表を組み立て掲示し、全職員いつでも確認できるようにしている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	・毎日終了後には必ず子どもの様子などを伝え合い把握し、保護者からの話を報告し合っている。話し合いの内容を、パソコンに入力し、職員で共有している。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	・毎回活動や支援等記録をとり、職員間で支援方法の検証、改善につなげ、すぐに実践している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	・活動内容を複数の職員で観察し、子どもに合った支援方法、支援計画になっているのか見直しの必要性を話し合っている。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	・子どもの状況をよく知る担当者や児童発達支援管理責任者が参加をし、情報を職員全員で周知している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	・担当相談支援員、保健師、医師やリハビリ等関係機関と必要に応じて連絡を取り合い、連携した支援につなげている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	・現在該当者はいないが、必要に応じて各関係機関と連絡を取り合い、連携した支援を行っていき、地域の関係機関と情報を共有して支援についての理解を深めるように努めている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	0	・現在該当者はいないが、必要に応じて、利用開始に合わせ、適切に連携できるような体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・保育所やこども園、幼稚園の先生に見学に来て頂き、実際に療育の様子を見てもらい、情報を共有することで理解を図っている。 ・必要に応じて、訪問、連絡、見学など行い情報共有と支援について話し合う機会をもっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・就学にあたり、移行支援会議に保護者とともに参加し、子どもの姿、保護者の思い、支援内容等情報共有を行っている。 ・就学移行がスムーズに行われるよう、特性とその関わり方に関する書類を保護者と協働して作成し、就学先と相互理解が図れるように努めている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	・他事業所、センター等専門機関との連携の中で、積極的に研修に参加して、情報収集を行い、助言を受け、資質の向上に努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	・必要性のある利用児には、機会を設けるようにしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	・各部会に積極的に参加し、情報交換を行い共有をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	・療育後に保護者の方と話す時間を設け、子どもの様子を伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を図るよう努めている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	0	・家庭での過ごしやすい環境の工夫、子どもの対応の仕方など保護者自身が考えていけるように日々の報告時や家庭訪問、相談時に提案したり一緒に考えている。また、母子療育の中で、家庭で取り入れられるような活動プログラムを行い、家庭での実践に向けて支援を行っている。 ・今年はコロナ禍により開催が難しい状況であるが、親の会では、子どもへの理解、家庭支援につなげる内容も取り入れている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	・契約時または利用者の必要に応じて説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	・支援開始の前に児童発達支援計画の説明を行い、保護者の同意を得てから療育を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	・利用日の送迎時やリモート面談、家庭訪問など定期的に相談に応じる体制を取っている。保護者の思いや悩み等に適切に応じ、必要な助言と支援に努めている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	・少人数(2~3人)の会を開催し、悩み事やストレス解消の場や保護者同士のつながりを支援している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	・療育後の話をする時間で相談に対する十分な時間が取れない時には適宜対応し、電話や家庭訪問等により相談時間を設けるようにしている。また、迅速に対応できるように努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	・ホームページや掲示板などで情報、研修案内等、発信を行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	・全職員で守秘義務について周知し、取扱いは十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	・聞き方の工夫、文字やイラスト、写真などの視覚的なツールを使用して、配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	・コロナ禍による感染対策等十分に留意しながら、地域活動などに参加する工夫を考えていきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	・マニュアルについて職員全員で周知し、保護者もいつでも見ることができる場所に設置し、周知に努めている。また、事業所内のよく見える所に避難経路や避難場所、感染症対策等を掲示しており、発生を想定した訓練も定期的実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	・各災害を想定した避難訓練を計画に基づいて行っている。訓練後参加した子どもの様子を保護者に報告している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	・利用開始前、保護者に調査票への記入をもらい、必要に応じて保護者から、または医師から情報と対応について状況確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	・契約時にアレルギーの有無を確認し、全職員で把握をしている。アレルギーの内容により除去食を提供する、持参してもらうなど対応している。対象者の名前カードをつけるなど明確にし、適切に対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	・ヒヤリハット報告書を作成して、改善すべき点を話し合い、環境面を整え、早急に改善している。職員会議の際に報告し、事例を全職員で共有し再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	・虐待防止についての研修に参加し、虐待について学び、事例について話し合い、検討するなど職員研修を行い、共通理解、周知に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	・やむを得ず身体拘束を行う事柄について職員会議や研修話し合いで周知し、対策や対応方法を共通理解して対応している。契約時、保護者に十分に説明を行い、了解を得ている。